2 豊田都心「T-FACE」A館 3月25日リニューアルオープン
3 愛猫ドルちゃん 20歳の記念撮影
3 ドローン操縦で シニア介護予防

旭つくラッセルに 太陽光カーポート

MYパワーの分散型発電所

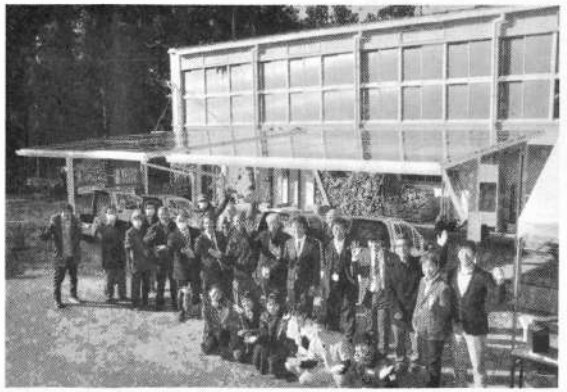
豊田市旭地区の人材創造拠点「つくラッセル」にソーラー発電カーポートが完成し、先月28日にお披露目会が開かれた。地域新電力「㈱三河の山里コミュニティパワー（MYパワー）」を核に豊田の山村地域で始まった〝電力の自給自足を地域経済循環につなげる取組〟を広げて行くための現地ショールームになりそうだ。

設置されたカーポートは普通車2台分のサイズ（出力5・5kW）が2基。発電した電気はつくラッセルで自家消費するほか、大雪や倒木で山村によくある停電時には地域の非常電源にもなる。また、つくラッセルは山村地域の高齢者が超小型電気自動車を移動手段とする取組「里モビ」の拠点になっており、その充電にも使われる。

今回の設置工事は地域外の業者が行ったが、つくラッセルを運営する戸田友介さんは「この取組を広げるには、地域の工務店や電機工事店さんの仕事にしていきたい。そういうお店が地域に残ってくれないと困りますから」と話していた。

MYパワーではこうしたソーラー発電カーポートを山村の各集落に設置してもらい、それを分散型のミニ発電所に位置づけて、これまで地域外へ流出するだけだった膨大な額の電気料金を地域のために循環させようとしている。今回のタイプの設置費用は1基200万円ほどだという。

お披露目会には今回のソーラー発電カーポート設置に協賛し、資金調達面で今後の普及促進の要となる豊田信用金庫も出席していた。【新見克也】



ソーラー発電カーポートの裏にストーブ用の薪が積んであるのが愉快だ。つくラッセルでは前述のように「豊かな森林資源×最先端技術」でカーボンニュートラルに対応した産業づくり・まちづくりをしようという構想だが、一つの夢として、その核となる研究施設コクーン（繭の意味）を豊田スタジアム近くの矢作川沿いにつくる構想も掲げている。流域の文化や新たなレジャーとも結びつけ、豊田都心～矢作川～中央公園の一帯に人の流れを創出し、まちの活性化にもつなげたいと考えだ。環境土木技術に哲学的に取り組んできた鈴鍵ならではの集大成だと感じた。【新見克也】

おおや・ちえ　元本紙記者。文化面や足助地区の記事を担当した。演劇、絵画、焼き物、音楽などが、まったくの素人だが好き。1977年生まれ。豊田市花園町在住。

この欄へのご感想・ご意見をお待ちしています。弊社ホームページ http://www.yahagishinpo.com/　E-mail kikaku-yahagi-s@asahi-net.email.ne.jpをご利用下さい。

新聞用紙を変更しました

本号より矢作新報は、新聞に使用する用紙を変更いたしました。今まで使用してきた用紙が供給不足になるとの予測による変更です。新しい紙はエコGという、再生紙を70％使用した紙です。今までより少し明るい紙色になっています。引き続き矢作新報をご愛読くだいますようお願いいたします。

矢作新報社